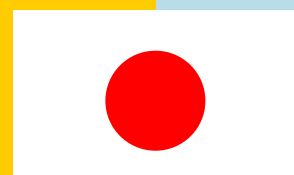


ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2021

EUROPEAN MOBILITY

WEEK

16-22 SEPTEMBER



日本国内実施状況報告



「持続可能な移動手段で、
健康を保とう！」

2021



ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2021

モビリティウィーク&カーフリーデー（9/16-22）は、持続可能な社会の構築にむけ、交通を切り口に、まちづくり、環境、生活など考える環境交通週間です。2021年は、世界 **3,184** 都市、日本国内からは、9 都市が参加しました。

全国 9 都市が参加しました！

木更津市（初）※・横浜市・逗子市・金沢市
福井市・豊橋市・大阪市・奈良市・福山市

※新規市民団体初参加



EMW&CFD2021 参加都市と実施形態の概要

	主催団体	都市名	主催	
			行政	市民
1	カーフリーデきさらづ実行委員会	木更津市 <i>NEW!</i>		●
2	カーフリーデー横浜実行委員会	横浜市		●
3	歩行者と自転車のまちを考える会	逗子市		●
4	金沢市	金沢市	●	
5	カーフリーデーふくい実行委員会	福井市		●
6	豊橋市・豊橋市地域公共交通活性化推進協議会	豊橋市	●	
7	自転車文化タウンづくりの会	大阪市		●
8	モビリティウィーク&カーフリーデーなら実行委員会	奈良市	●	●
9	ふくやまサイクルシティ・プロジェクト	福山市		●



逗子市：歩行者と自転車のまちを考える会

11 回目（市民団体参加 9 回目）

歩行者と自転車のまちを考える会は、逗子市まちづくり基本計画に掲げられた「交通：歩行者と自転車優先のまち」を実現するために活動している市民団体です。

逗子市歩行者と自転車を優先するまちアクションプランのなかの重点プログラム～JR 逗子駅周辺をもっと歩きやすく!もっと走りやすく!もっと出かけやすく!～の実現を目指して2009年から、ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーに参加し、啓発イベントを行っています。（一時期、行政主催で実施されましたが、現在、市民主体で実施しています。）

カーフリーデー当日は、今年も、逗子駅前広場特設ブースにて、「車に依存しない生活」の必要性・有効性をPRしました。

今年は、昨年に引き続き、ウィズコロナ時代の交通意向調査、EMWパネル展示を行いました。アンケートでは、約110人の市民のみなさんから回答を得て、交通に対する意識をシェアできる機会となりました。

また、モビリティウィーク期間中には、市内掲示板や公共施設にポスター掲示や、Facebookでも交通アンケートPRを実施しました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/16-22 ポスター掲示、アンケート実施
9/23 カーフリーデー



カーフリーデー当日の様子 逗子駅前広場のブース

UD タクシーやエレベーター付きバスの展示・乗車体験や、鉄道模型の展示（金沢大学と金沢工業大学の鉄道愛好会の製作）、バスのコロナ対策を知ってもらうための換気の実演などが行われました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/11 カーフリーデー



カーフリーデー チラシ



福井市：カーフリーデーふくい実行委員会

15回目参加

カーフリーデーふくい実行委員会は、NPO 法人ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA）が中心となり、豊かで夢のある未来にむけて、人々が安心して利用できる路面電車やバスなどの公共交通（ホジロバ：歩行者・自転車・路面電車・バス）を活かしたまちづくりを目指し、活動を行っています。

カーフリーデーでは、この数年、福井市のサブターミナルである田原町駅広場等で、カーフリーデーが開催されました。田原町駅は、福鉄・えち鉄電車駅、バス停留所があり、公共交通を間近で見ながら公共交通の大切さをPRするには、格好の場所です。

当日は、「クルマをおいてホジロバ交通（歩行者、自転車、路面電車、バス）でまちに出よう！」をテーマに、例年実施の「ちょい旅（バス・電車のフリーキップを渡しまち歩きをしてもらうイベント）」、バスの乗り方教室、モビリティウィークセンター（バス・

電車なんでも相談・案内所）、カーフリーデー・ステージ、そして、「あおぞらえほんとしょかん in カーフリーデー」等、盛り沢山のイベント・企画が行われました。感染対策を講じながら、たくさんの親子連れに、公共交通優先のまちづくりについて楽しく考えるきっかけを提供できました。

また、近年同様、9/16～22 を「モビリティウィークふくい」として県庁ホールにて EMW をはじめ各種パネル展示を、また 8/30～9/30 には「モビリティマンスふくい」として市立図書館での「公共交通図書 特集コーナー」が設置され、1 か月にわたって、長期的な啓発活動が行われました。

◆モビリティウィークの取組み◆

- 9/15-9/23 パネル展
- 9/22 カーフリーデー
- 8/31-9/28 モビリティマンスふくい
「公共交通図書特集コーナー」開催



カーフリーデー当日の様子/ 会場全体（左）・あおぞらえほんとしょかんの様子（右）



豊橋市：豊橋市・豊橋市地域公共交通活性化推進協議会

9回目参加

豊橋市では、公共交通を普段から利用することの社会的意義を多方面から確認することを目的とし、豊橋市と豊橋市地域公共交通活性化推進協議会で実施しています。

今年は、カーフリーデーが、緊急事態宣言期間中にあたってしまったため、開催が中止となりました。本来であれば、当日は、市の交通施策などのパネル展示、バスの乗り方教室、ウォーキングや自転車を使ったフォトラリーなどが計画されていました。

一方で、モビリティウィーク期間中には、①東三河バス整理券ラリー&歴史謎解きゲームの実施、②クールチョイス（スマートムーブ）の普及、③公共交通利用促進動画の制作、放映、④県境（愛知県と静岡県）の事業所に対してモビリティマネジメントの実施、

⑤公共施設（こども未来館にここ）でのカーフリーデーパネル展示、⑥市立図書館での公共交通フェアなど、充実した活動が行われました。

特に、今年は、市電、バスの利用促進を啓発する 15 秒CM2 本と、公共交通の新しい生活様式を啓発する 30 秒CM1 本を制作して、公共交通の利用を積極的に呼びかけました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/19 カーフリーデー（中止）

9/8-22 図書館公共交通フェア

9/16-22 ①東三河バス整理券ラリー&歴史謎解きゲームの実施、②クールチョイス（スマートムーブ）の普及、③公共交通利用促進動画の制作、放映、④県境（愛知県と静岡県）の事業所に対してモビリティマネジメントの実施、⑤公共施設（こども未来館にここ）でのカーフリーデーパネル展示、⑥市立図書館での公共交通フェア



公共交通フェア



カーフリーデーパネル展示



大阪市：自転車文化タウンづくりの会

10回目参加

自転車文化タウンづくりの会は“歩行者も自転車も安心して通行できる環境づくり”を求め、団体の趣旨に賛同するたくさんの方々を集めて、自転車で走行アピールを行っています。

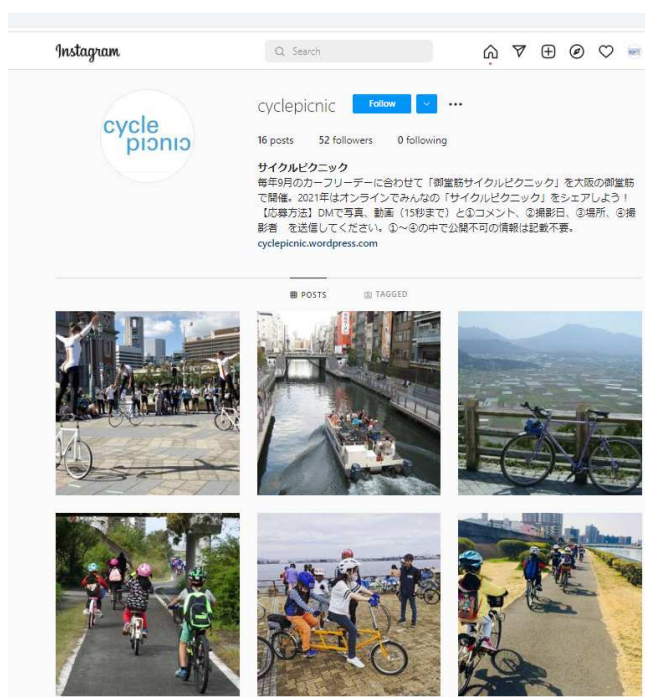
「大阪モビリティウィーク&カーフリーデー2021（御堂筋サイクルピクニック第16回）」では、新型コロナウイルスの影響でイベントの規模は縮小しました。

例年、300人近い参加者で自転車アピール走行が行われますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年は、オンラインでの開催としました。

「2021年はオンラインでみんなの「サイクルピクニック」をシェアしよう！」と題して、写真や動画をSNSにアップしたり、オンライン講演会「コロナ後に向けた御堂筋の挑戦！～これからの大阪のまちで自転車はどこ走る？～」を開催し、大阪の自転車走行環境について、みなさんとシェアしました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/20 カーフリーデー
(御堂筋サイクルピクニック第16回)



団体のInstagram上での
動画・写真シェア



奈良市：モビリティウィーク&カーフリーデーなら実行委員会

4回目参加

モビリティウィーク&カーフリーデーなら実行委員会は、奈良市（環境政策課）を事務局とした官民の諸団体で構成されています。

持続可能な社会への転換を目指す総合的な政策展開や、市の将来的な目標である、世界遺産エリアへのマイカー流入規制の実現にむけた啓発活動としてモビリティウィークが導入され、「奈良は車で来ない方が楽しい」、「車に乗らない方が暮らしやすい」を市民に体感してもらうために、カーフリーデーを実施しています。

昨年も新型コロナの影響を受けましたが、啓発スタイルを工夫しながら多様な取り組みを展開しました。

EMW 期間中は、「モビリティウィーク&カーフリーデーなら～今日は、クルマをおいて出かける日～」と題し

て、JR 奈良駅での啓発活動や、サイクリングや歩いて楽しむイベントが開催されました。また、市役所、駅ロビー等にて、EMW&CFD パネル展示を行ったり、FMラジオにて、モビリティウィークのPRトークが日替わりで行われました。

9/22 のカーフリーデーでは、オンライン講演会を行い、奈良市長を含むパネラーと参加者が一緒に、ならの移動の在り方について意見を交わし、奈良の今後の一歩につなげる機会となりました。

◆モビリティウィークの取組み◆

- 9/16-24 EM&CFD パネル展展示
ラジオでのPR
- 9/20 JR 奈良駅での啓発活動等
- 9/22 オンライン講演会



JR 奈良駅での啓発活動



サイクリングツアーの様子



今年参加登録しましたが、新型コロナの影響を受け、活動が中止になったり、縮小になった都市をご紹介します。

木更津市：カーフリーデーきさらづ実行委員会

初参加！

カーフリーデーきさらづ実行委員会は、事務局団体・特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センターの呼びかけにより集まった有志による任意団体です。今年、初参加です。

当初、野外でのブース出展、車両展示、バス試乗など予定していましたが、コロナの感染状況に応じ、規模を縮小し、屋内において、暮らしの足と地域の環境を考えるミニシンポジウム、NPO・市民活動団体、交通事業者などによるパネル展示に変更しました。

しかしながら、最終的には、緊急事態宣言の延長等により、カーフリーデーの開催は中止となりました。

千葉県初カーフリーデーとして、様々な団体、行政との協働に精力的に準備してきたので、来年度の実施が期待されます。

◆モビリティウィークの取組み◆

カーフリーデー中止

(コロナ緊急事態宣言を受け)

横浜市：カーフリーデー横浜実行委員会

18年目（新規市民団体参加2回目）

カーフリーデー横浜実行委員会は、2020年に結成された市民団体で、(株)エクラストが事務局となっています。

今年もカーフリーデーを計画していましたが、新型コロナの影響により、カーフリーデーイベントを見送りました。

モビリティウィーク期間中には、京急線横浜駅上りホームにて、EMWPRポスターやEMW紹介パネルを掲示しました。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/17-22 パネル掲示

※横浜では、長年、NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会が参加してきましたが、昨年の実施をもって解散となりました。例年、横浜市民の環境・まちづくり等における官民学の交流の機会として、市民のみなさんに支持されていました。その後、カーフリーデーを惜しむ市民のみなさんの声が多く、それに応えるかたちで、カーフリーデー横浜実行委員会が立ち上がりました。



福山市：ふくやまサイクルシティ・プロジェクト

3回目参加

ふくやまサイクルシティ・プロジェクトは、自転車レンタル事業者や自転車の愛好家などで構成され、環境配慮・健康増進に加えて、より快適に安全に自転車で走行できる環境をめざす組織です。

このプロジェクトでは、各家庭に、自転車を利用することで、楽しく、家族が健康になり、家計や環境に優しいことをアピールし、多くの市民に活動へ参加してもらうこと、また、企業や行政へ、自転車による通勤通学が、快適で安全に継続できる環境を提言し、全体の健康増進、交通渋滞緩和、CO₂排出削減を目指します。

今年も、新型コロナの影響を受け、9/18-22 のモビリティウィーク期間中に、EMW パネル展示のみ、行いました。

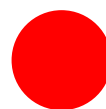
モビリティウィーク終了後には、関係者とのシティライドも行い、来年にむけて準備をすすめています。

◆モビリティウィークの取組み◆

9/18-22 パネル掲出

EUROPEAN MOBILITY WEEK

16-22 SEPTEMBER



ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2021

ヨーロッパモビリティウィークカーフリーデー
日本担当事務局

一般社団法人 カーフリーデージャパン

東京都北区田端2-4-19

電話：03-6914-3404